

# ひるまだより

医療法人社団トモニアユム  
ひるま矯正歯科  
Hiruma Orthodontic Office

発行:ひるま矯正歯科  
〒190-0012 立川市曙町2-9-1 菊屋ビルディング2F  
TEL:042-526-3376/FAX:042-528-1102  
URL:http://www.hiruma.or.jp/



ユニフォームをリニューアルしました!!

## 特集

患者さんインタビュー①

### 「不安もあつたけれど外科矯正して良かった」

後遺症が心配でしたが、先生の後押しで外科矯正を決定されたKさんにお話を伺いました。インタビューの内容をダイジェスト版でお届けします。全文はホームページで。

◆ひるま矯正歯科を選んだのはなぜですか。

小さいころから歯の噛み合わせが悪くて、ラーメンやうどんなどの麺やいんげん豆がうまく噛めず、いつか噛めるようになりたいと思っていました。付き合っている彼女がひるま矯正歯科で矯正治療について「すごくいい病院だから、ここで治してみたら」とすすめられ決めました。

◆先生から外科矯正をすすめられた時の気持ちは?

「検査の結果、僕の場合は「歯のずれよりも、あご

の骨のずれのほうが大きい」ということでした。「形成外科で、あごの骨をけずって

ずれを直す手術を受けてから歯を矯正しないと、かみ合わせも良くならない」と診断され、外科手術を受けて矯正治療する「外科矯正」をすすめられました。手術

のあと、口の回りの麻痺などといった後遺症の可能性を知り、正直なところ、治療を受けるかどうかかなり

悩みました。先生にメールでいろいろ相談をしたのですが、そのたびに親身に答えてくれ、「不安もあると思うけど、案ずるよりも産むが易し。大丈夫ですよ」と、

最後は先生が背中をおしてくれ、よし、受けようと思つて決めました。

◆手術はどうでしたか。

手術日の前日に病院に行つて検査や手術の説明を聞き、翌日手術。手術の前

は緊張しましたが、全身麻酔で目がさめたら手術は終わったまま、病室へ向かうエ

レベーターの中で目が覚めました。その夜は、麻酔の影響でのが痛くてつばが

のみこめず、ほとんど眠れない状態で、とてもつらかったです。

手術後1週間くらいは、口がワイヤーで固定されたままで開かないので、鼻にチューブをつけられ、そこ

から栄養を入れる形での食事でした。その後徐々に普通の食事に戻り、後半1週間は、口を少しずつあける練習を行い、2週間くらいで退院しました。心配だった後遺症も、手術直後に下唇がピリピリしたくらいですぐに治り、その後はありませんでした。

矯正治療は、いい先生に出会えれば、いい結果が出ると思います。治療期間は長いけれど、やって良かったと思う日が必ず来るので治療すべきか悩んでいるのだったら一歩進んでやってみることをおすすめします。

心配されていた後遺症もなく、なんでも噛めるようになったというKさん。本当に良かったです。(N)



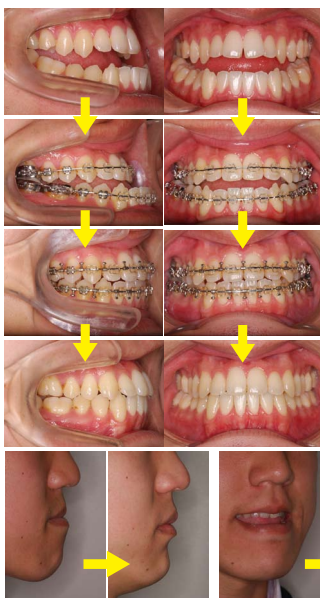
### Kさんの症状について解説します

#### ●初診時の診断:「開咬をとまなう骨格性下顎前突症」

Kさんは骨格的に上顎骨および頭蓋に対して下顎骨が前下方に位置し下顔面高は大きく、下顎全体の突出感、下唇やオトガイ部(下顎骨先端)の突出感が顕著です。また口唇閉鎖時の緊張感(オトガイ周囲の皺)を認めました。

治療方針としては、開咬や反対咬合の原因は主に下顎骨の過成長によるものと診断、骨格のズレ、骨格と軟組織の不調和が大きいことから外科矯正治療による下顎骨の後退と親知らず(第3大臼歯)の抜歯による軽度叢生の改善を提案しました。しかし外科矯正治療では全身麻酔による手術および10~14日の入院が必要な事、手術後に知覚の麻痺が残る可能性がある事などから十分に検討していただいてから治療を開始する事としました。

治療結果は、外科手術により下顎骨を後方に後退、下顎骨の突出感の改善、下顔面高の減少による口唇閉鎖時の緊張感が改善しました。本症例は叢生が少なく歯性問題は小さかったため外科手術を行う事で短時間で改善する事ができ、懸念していた外科矯正による知覚の麻痺もほとんど認められませんでした。



#### 【初診時】

上顎歯列に対して下顎歯列が前方に位置し大臼歯部しか咬合していない。

#### 【術前 動的治療後】

叢生は改善され咬合平面が平坦化された。

#### 【外科手術直後】

外科手術で下顎骨は後退し、上下歯列の前後的な位置関係が大きく改善。

#### 【術後 動的治療後】

上下臼歯部の幅に僅かなズレが残るものの咬合は概ね安定。パノラマX線

写真所見では各歯の歯軸がほぼ平行に並び良好なバランスの歯軸配列となった。